

# 主要7項目

7つの目標を「主要項目」として予算を効果的・効率的に配分しました。項目ごとに主な事業の一部を紹介します。

## 1 環境と調和のとれたまちづくり



▲19年度に設置された野市東幼稚園のソーラーパネル

- **メガワットソーラー事業**(1,000万円)  
地球温暖化防止を目的として、事業用太陽光発電の普及を図ります。対象は、商店・農作業・公共施設などで事業費の50%を市が負担します。
- **地域新エネルギービジョン策定事業**(1,000万円)  
香南市・香美市の中で、民間の活力を生かした新エネルギー導入のための課題を整理し、事業化に向けた構想を行うため、初期ビジョンを策定します。

## 2 産業の振興と多彩で魅力のある働く場づくり

- **レンタルハウス整備強化事業**(5,300万円)  
農協が主体となって園芸用施設を整備し、新規就農者や規模拡大農家に貸与し、新規就農者の育成を図ります。
- **中山間総合整備事業**(1億715万円)  
農業経営の合理化などを行うため、夜須町西山・坪井工区農業用排水路、十ノ木集落排水路などを整備します。
- **農山漁村活性化プロジェクト交付金事業**(5,051万円)  
平成20～22年度の3カ年事業として香我美町下分久保田用水路の改修を行います。



▲夜須地区中山間総合整備「加増工区ほ場整備」(19年度)

## 3 いきいき健やかに人に優しいまちづくり



▲野市幼稚園で行われた防災訓練

- **児童手当支給事業**(2億6,408万円)  
小学校6年生までの児童を養育している人に、手当を支給し、健全な育成を応援します。
- **野市幼稚園建設事業**(2億1,223万円)  
遊戯室を除く園舎が昭和53年建築で、老朽化が激しいため園舎を改築します。
- **後期高齢者医療広域連合負担金**(3億4,740万円)  
後期高齢者制度の対象となる75歳以上の人(65歳以上で障害認定を受けている人)の医療費と後期高齢者医療制度の運営経費を負担金として広域連合へ支払います。



3月定例議会で発表した20年度のまちづくり。3年目を迎えた市の仕事と予算を説明します。

# 特集 市の予算と仕事

### 安心して安全なまちづくりのために 香南市政が示す20年度の方針！

#### 厳しい状況

合併して2年が経過しましたが、依然として厳しい財政状況が続いています。今年度の地方交付税は、前年度に比べ約2億5千4百万円が加算されますが、その一方、高齢者の包括支援算定経費の減額などで、実質的な増加は見込めず、21年度以降も減額傾向が続くと予測されます。

#### 重要な事業が山積み

しかし、そうした状況の中、安心して安全なまちづくりのために必要不可欠な事業は、今後5年間の中期財政計画で、ケーブルテレビの光ファイバー化への移行や給食センター建設、消防庁舎建設など32億4千万円の事業などが予定されており、基金を取り崩さなければ予算が組めない状況となっています。

#### 借金返済を優先

そこで、20年度予算は市として健全な財政運営をすることのために、創意工夫をもって効果的な資産運用に努めていきます。

その一つとして、財政を圧迫している約382億円の借金を早期に減少させることを優先することで、「実質公債費比率」の上昇を抑制します。

これは、高金利の借金を補償金免除で有利に返済できる制度を活用するもので、19年度からの3年間の利子削減効果は、3億4千5百万円となる見込みです。

※実質公債費比率：借金の返済額と自主財源の割合を示したもので、25%以上になると借入れを制限され破産団体の一歩手前となる

#### 積極的な予算編成

交付税の減少や、借金の返済を優先する中、20年度は市民のさらなる一体性と発展、地域再生と一層の福祉向上のため、限られた財源の中で基金を取り崩しながらの積極的な予算編成に努めました。

重点施策としては、防災体制の整備強化、道路交通網の整備、産業の発展と雇用拡大を図る事業展開、安心して学べる教育環境の整備充実などに取り組みます。また、環境と調和のとれたまちづくりや児童・高齢者などの福祉対策、健康増進対策などを継続して行っていきます。

昨年度に比べ一般会計では増額となりましたが、今後とも行財政改革を推進し、中期長期財政計画における事業を大幅に見直し(新庁舎建設の実施年度の見直しや事業費の変更など)ながら、安心して安全なまちづくりを進めていきます。市民の皆さまとともに「元気で豊かに光るまち」を目指して参りますので、ご理解と協力をよろしくお願い致します。

香南市長 仙頭義寛